

ASO環境共生基金事業

これまでの活動内容を紹介します

『あなたの思いが阿蘇の自然を守ります』を合言葉に、ASO環境共生基金は平成19年度から寄付金の募集を開始しました。平成21年度から阿蘇の自然環境に関する事業を実施してこととして10年目を迎えます。

協力により、阿蘇の未来を担う子どもたちに阿蘇の自然の貴重さと素晴らしさを伝えることや眺望の妨げとなる木の伐採など様々な成果が上がっています。

多くの皆さま方のご支援に感謝するとともに、ASO環境共生基金事業のこれまでの活動内容をご紹介します。

おかげ
さまで
10年

☎ 市役所 住環境課 ☎ 22-3169 ☎ 22-3115
〒 869-2695 阿蘇市一の宮町宮地 504-1

寄付の方法

①寄付のお申込み

ホームページ掲載の寄付申込書に必要事項を記入し、市役所住環境課へ送付(郵送・FAX・メール)してください。

②寄付金のご入金

申込確認後、こちらから送付する専用の振込用紙にて寄付金のご入金をお願いします。ご入金を確認後、寄付金の受領書をお送りします。

※企業の場合は法人税の優遇措置が受けられます。

詳しくは『ASO環境共生基金』のホームページをご覧ください。

ASO環境共生基金って何？

阿蘇市の雄大な自然景観や豊かな水、阿蘇特有の希少な動植物など自然資源を維持・保全して後世へ引き継ぐため平成19年3月に設立されました。

阿蘇に想いを寄せていただける方々から寄付されたお金を基金として積み立てています。

寄付金は何に使われているの？

「子どもたちへの環境教育」や「希少野生植物保護」、「景観・環境の整備」にかかる事業に使われています。詳しい内容は左ページで紹介しています。

1

子どもたちへの 環境教育

日本一広大で千年の歴史を持つとも言われている阿蘇の草原について、未来の阿蘇を担う地元の子どもたちに理解を深めてもらい、草原の維持・保全の意識を高めるため、自然観察や学校での学習、野焼き体験などを実施しています。



草原を守る野焼き体験

2

希少野生植物保護

阿蘇には大陸から南下してきたと考えられる大陸系遺存植物など、阿蘇地域だけに見られる貴重な植物が豊富に生息していますが、その種は減少したり絶滅の危機に瀕しています。

種の絶滅の回避と次代を担う子どもたちの環境教育を兼ねて、市内の小学校で希少植物の栽培を実施しています。

一般向けの環境教育の場として、国立阿蘇青少年交流の家野草園においても同様の事業を実施しています。



小学校での希少植物栽培

3

景観・環境整備

草原再生に向け草千里ヶ浜周辺の杉林伐採や地域等の自主的な草原再生に向けた活動に対して支援しています。阿蘇市内の景勝地等における景観形成を図るために、観光道路沿いで眺望の妨げとなる木の伐採や広葉樹の植栽などで景観向上を図っています。



草千里ヶ浜の草原再生と景観形成